

天王中学校だより 7月号

令和5年7月3日

<めざす生徒像>

校長 浅香 健一郎

いのちを輝かせ、主体的に行動できる生徒

「あ」 いさつ・「ま」 もる・「え」 がおて 1日を！

1 土曜参観



6月10日(土)に土曜参観を行いました。多くの保護者に来校いただき、ありがとうございました。生徒たちもいつもとは少し違う視線を感じてか、どこか恥ずかしそうな、嬉しそうな表情をしていましたね。



2 1 学期期末テスト

6/26(月)~28(水)の3日間、1学期の期末テストを実施しました。2年生では体調不良者が前の週末にでましたが、何とか対策を講じつつ、試験を行うことができました。

朝の登校時に正門で、「校長先生、勉強すぎて眠いです。」と話してくれた生徒もいましたが、普段のみなさんの頑張りを定期テストで出すことができたでしょうか。

もちろん、このテストだけでみなさんの頑張りを評価することはありません。頑張ったことが、結果に表れることが一番良いことですが、結果にでないことも長い人生の中ではたくさんあります。中学生の時期に大切なことは、結果に至るまでのプロセスだと校長先生は思っています。

点数や数値では測れない力になりますが、目標に向かって準備をおこなったり、自分で決めたことをやりきる力。いわゆる、この「非認知能力」を、しっかりと天王中学校で培ってほしいと思います。



3 夏休みに向けて



7 月に入れば 3 週間で夏休みを迎えますね。

長期の休みを迎えると、どこかご褒美的に感じてしまうところはありませんか？ 校長先生も中学生の時、どこかうきうきしたり楽しみにしていました。夏休みを前にしたみなさんに、少しだけお話を…。



さて、みなさんは「キャラメルコーン」の秘密を知っていますか？？

まずキャラメルコーンといえば、ピーナッツとキャラメルがちょうどいいバランスで混ざり合い、ほどよい甘さと塩分で、子ども・大人に人気のあるお菓子です。山田教頭先生は大好物とのことですよ（笑）。

そんな大人気のキャラメルコーン。実は、出来立ての時の味は普段私たちが食べているときの味と全く違うのです。なぜ、出来立てと、家で食べるときの味と違うのか…？。

工場出荷時の袋詰めの時、甘いキャラメルコーンだけをまず袋に詰めるのだそうです。そして、袋の上部には塩分のあるピーナッツを入れて、二段構造で袋詰めします。ですから、工場出荷時にすぐ食べるとピーナッツ多め、もしくはキャラメルコーンの甘さが強すぎたりするのです。

しかし、実際に袋詰めされたキャラメルコーンは、トラックに揺られ、スーパーの商品棚に置かれるときにシェイクされ、購入して家に着くまでに自転車などで袋が揺らされます。その揺れにより、上部の塩分ピーナッツと下部のキャラメルコーンがほどよく混ざり合い、みんなが口にするときには、甘じょっぱく食べやすい唯一無二の味、いわば出荷時よりも成長した味が出来上がっているのです。



強引ですが、何が言いたいかというと、夏休み前と夏休み後で、みなさんの成長を期待したいということです。ただ単に夏休みを過ごすのではなく、何か目標をもって過ごしてほしいのです。

しっかりと休養したり、普段できないことに精を出したり、部活動で専門的技術を身に着けたり、何か一つ目標を持ってください。そして、成長した元気な姿で 2 学期に会えることを期待しています！

【7月-July-】

- ・1(土) 青健協主催 大正川一斉清掃
- ・11(火)～18(火) 三者懇談
- ・12(水) 1年合唱コンクール
- ・14(金) 平和学習
- ・20(木) 終業式



【8月-August-】

- ・12(土)～14(月) 学校閉校日
- ・体育館空調設置工事12(土)～24(木)
- ・25(金) 2学期始業式

